

令和 7 年 度

全国学力・学習状況調査

調査結果の概要及び改善の方向性について



令和 7 年 4 月 17 日に 3 学年を対象に実施した「全国学力・学習状況調査」について、本校の調査結果をお知らせいたします。

- * 今回実施した国語、数学、理科、生徒質問紙に関する本校の概要を示しました。
- * 調査教科の課題や指導内容と照らし合わせた改善の方向性を示しました。
- * 生活習慣や学習習慣に関する調査について、顕著な項目についてまとめました。

「全国学力・学習状況調査」の全国の結果については、下記のホームページをご覧ください。

国立教育政策研究所「全国学力・学習状況調査」ホームページ
<https://www.nier.go.jp/kaihatsu/zenkokugakuryoku.html>

令和7年度（2025年度）

※○・・・全国平均を上回っている項目

□・・・全国平均とほぼ同等な項目

▼・・・全国平均を下回っている項目

◇・・・全国平均をやや上回っている項目

◆・・・全校平均をやや下回っている項目

本校の概要

今回の調査における課題

改善の方向

【領域】

「言葉の特徴や使い方に関する事項」

○全国平均を上回っている。

「情報の扱い方に関する事項」

今年度は出題されていない。

「我が国の言語文化に関する事項」

今年度は出題されていない。

「話すこと・聞くこと」

◇全国平均とほぼ同程度であるが、やや上回っている。

「書くこと」

□全国平均とほぼ同程度である。

「読むこと」

□全国平均とほぼ同程度である。

➤ 文脈に即して漢字を正しく使うことができること。

➤ 文脈を意識して適切な漢字を使う学習活動の充実。

➤ 資料や機器を用いて、自分の考えが分かりやすく伝わるように表現を工夫することができること。

➤ 自分自身が資料を理解するだけでなく、資料の内容が伝わりやすい表現はどのようなものかを考える学習活動の充実。

➤ 自分の考えが伝わる文章になるように、根拠を明確にして書くことができること。

➤ 考えた文について、相手に伝わりやすいかどうかを、根拠をもって検討する学習活動の充実。

➤ 文章の構成や展開について、根拠を明確にして考えることができること。

➤ 文章の構成や展開を理解した上で、自分の考えを根拠をもって表現する学習活動の充実。

令和7年度（2025年度）

※○・・・全国平均を上回っている項目

□・・・全国平均とほぼ同等な項目

▼・・・全国平均を下回っている項目

◇・・・全国平均をやや上回っている項目

◆・・・全校平均をやや下回っている項目

本校の概要

今回の調査における課題

改善の方向

中学校
数学

【領域】

「数と式」

◇全国平均とほぼ同程度であるが、やや上回っている。

➤式の意味を読み取り、成り立つ事柄を見だし、数学的な表現を用いて説明することができること。

➤数を和や積に表すなどして数量の関係を捉え、事象の特徴を読み取り、説明すること。正の数と負の数を四則演算の方法を考察し、表現できるようにすること。

「図形」

○全国平均を上回っている。

➤統合的・発展的に考え、条件を変えた場合について、証明を評価・改善することができること。

➤図形の観察や操作、実験などの活動を通して、予想した事柄が成り立つ理由を、筋道を立てて考えることができるようにすること。

「関数」

◇全国平均とほぼ同程度であるが、やや上回っている。

➤一次関数において、変化の割合を基に、 x の増加量に対する y の増加量を求めることができること。

➤一次関数についての正しい理解を深め、知識を活用して問題を解くことができるようになること。

「データの活用」

○全国平均を上回っている。

➤相対度数の意味を理解していること。

➤相対度数について正しい理解と、それらを活用して問題を解くことができるようになること。

令和7年度（2025年度）

※○・・・全国平均を上回っている項目

□・・・全国平均とほぼ同等な項目

▼・・・全国平均を下回っている項目

◇・・・全国平均をやや上回っている項目

◆・・・全校平均をやや下回っている項目

本校の概要

今回の調査における課題

改善の方向

中学校理科

【領域】

「エネルギー」を柱とする領域

○全国平均を上回っている。

➤【考察】をより確かなものにするために、知識及び技能を活用して、変える条件に着目した実験を計画し、予想される実験の結果を適切に説明できこと。

➤実験計画を立て、予想と結果を適切に説明し合う学習活動の充実。

「粒子」を柱とする領域

◇全国平均とほぼ同程度であるが、やや上回っている。

➤身の回りの事象から生じた疑問や見いだした問題を解決するための課題を設定できること。

➤授業での学習内容と実生活を結びつけ、疑問を見いだす働きかけや学習活動の充実。

「生命」を柱とする領域

◇全国平均とほぼ同程度であるが、やや上回っている。

➤生物を観察する場面において、生命を維持する働きに関する知識が概念として身に付いていること。

➤生物に対する知識を身につけるために、生物に関心を高める学習活動を充実させること。

「地球」を柱とする領域

○全国平均を上回っている。

➤時間的・空間的な見方を働かせて、知識と情報を関連付けながら検討し、表現できること。

➤学んだ知識や情報を関連付け、表現し合う学習活動の充実。

【質問紙調査】生活や学習に関する調査について

望ましい傾向が読みとれる回答

質 問 事 項

(◎：全国平均を上回っている項目。○：全国平均をやや上回っている項目)

□：全国平均とほぼ同程度

【相互承認の感度】

- ◎ 自分には、よいところがあると思う。
- いじめはどんな理由があってもいけないことだと思う。
- 人の役に立つ人間になりたいと思う。

【自治活動】

- 授業や学校生活では、友達や周りの人の考えを大切にして、お互いに協力しながら課題の解決に取り組んでいる。

【学習習慣】

- ◎ 分からないことや詳しく知りたいことがあったときに、自分で学び方を考え、工夫することはできている。
- ◎ 土曜日など学校が休みの日、1日当たり1時間以上勉強をしている。
- ◎ 学校の授業時間以外に、普段（月曜日から金曜日）、1日当たり1時間以上勉強をしている。
- 学習した内容について、分かった点や、よく分からなかった点を見直し、次の学習につなげることができている。
- 学校の授業時間以外に、普段（月曜日から金曜日）、1日当たり1時間以上、PC・タブレットなどのICT機器を、勉強のために使っている。

【地域や社会に関わる活動の状況等】

- ◎ 地域や社会をよくするために何かしてみたいと思う。

課題があることが読みとれる回答

質 問 事 項

(◆：全国平均を下回っている項目)

- ◆ 人が困っているときは、進んで助けている。
- ◆ あなたの学級では、学級生活をよりよくするために学級活動で話し合い、互いの意見のよさを生かして解決方法を決めている。

※回答については、肯定的な傾向のものと否定的な傾向のものに分類して分析しています。